

1. 中学校理科における特別な配慮が必要な児童生徒への対応

- 令和7年度調査の中学校「理科」における特別な配慮が必要な児童生徒への対応は以下のとおり。
- 必要に応じて、付添者が、端末画面に表示されている文字を音読し、生徒から解答を聴き取り代理入力するといった対応可（口頭解答をするため別室で実施）
- 必要に応じてOSやブラウザの機能によるハイコントラスト(色反転)を設定する等、見やすさに配慮した調整可。

| 主な対象 | MEXCBTで対応予定のプログラム | 調査問題冊子・解答用紙 |
|---------------------------|-------------------|--------------|
| 視覚障害のある生徒 | 拡大文字問題（解答時間延長） | CBTで作成・配信 |
| | 点字問題（解答時間延長） | PBTで作成・配布（※） |
| 聴覚障害・肢体不自由・病弱等その他の障害のある生徒 | 時間延長問題（解答時間延長） | CBTで作成・配信 |
| 日本語指導が必要な生徒 | ルビ振り問題（解答時間延長） | CBTで作成・配信 |

（※）中学校理科における点字問題等の必要部数については、1月中旬以降のD調査にて例年どおり照会予定。

2. 配慮版問題のサンプル問題搭載について

令和7年1月に、中学校理科のサンプル問題（拡大文字問題・ルビ振り問題）をMEXCBT上に搭載予定。